

鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和5年度第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	令和6年1月5日(月) 10:00~12:00
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室
議題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p>議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業等の評価について</p> <p>議案第2号 近鉄鳥羽駅・佐田浜周辺における案内サイン整備改修計画の策定について</p> <p>議案第3号 地域公共交通計画と乗合バス等補助制度との連動化のための地域公共交通計画の一部改訂について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) かもめバス循環便について(情報共有)</p> <p>(2) 旅客運輸2024年への対応について</p> <p>(3) 「中高生フォトコンテスト」について</p>
会議資料	<p>席次表・委員名簿</p> <p>事項書</p> <p>議案書</p> <p>別冊1 近鉄鳥羽駅・佐田浜周辺における案内サイン整備改修計画</p> <p>別冊2 鳥羽市地域公共交通計画 修正案 R6.1.5</p> <p>その他資料</p> <p>1 かもめバス利用状況統計</p> <p>2 鳥羽市営定期船乗船人員数調べ概要</p> <p>3 【資料】循環便のルート(案)</p> <p>4 鳥羽市コミュニティ交通システム路線図</p> <p>5 循環便ルート(かもめバス5路線)乗降人員調べ(令和4年度実績)</p> <p>6 旅客運送2024問題への対応</p> <p>7 「中高生フォトコンテスト」チラシ</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	8人
出席委員	立花会長、加藤委員、藤原委員、川北委員、橋本委員、前葉委員、木下委員、山下委員(志摩建設事務所)、藤田委員代理古市氏、中田委員、豊田委員、竹内委員、森吉委員代理垣内氏、木下委員、西川委員、山本委員、高木委員、小寺委員、岡本委員、辻川委員、高浪委員、福田委員 22名
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、濱崎委員、中山委員、山下委員(老人クラブ連合会)、谷端委員、今井委員、清水委員、斎藤委員、濱田委員
事務局	定期船課 山本、西根、斎藤 企画財政課 斎藤、島田、木下
<p>1. あいさつ</p> <p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 ・出席報告(31人中22人出席) <p>○会長挨拶</p> <p>本日は年明けの慌ただしい中、鳥羽市地域公共交通会議全体会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、平素より、本市の旅客運送に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>さて、元日夕方非常にショッキングなニュース、能登半島地震が発生いたしました。被災地域と本市</p>	

とは、海女振興の分野で交流のある地域でございます。被災地域の方々にお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧復興を心よりお願い申し上げます。また、支援要請につきましても、積極的に答えていく姿勢でございます。

本日、主な議題といたしましては、中部運輸局へ提出します。地域公共交通確保維持改善事業の評価等について、協議を賜りたいと存じます。また、昨年より進めておりました再改修計画公共交通計画と保持制度との連動化について方向性をお示しさせていただきます。

限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いたします。

2. 議事

(1) 議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

○事務局説明

資料1 地域公共交通確保維持改善事業の評価について

資料2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

資料3 離島航路3カ年計画 と記載のもの

○委員からの質問等

・委員（観光）

参考程度だが、観光客動向調べを紹介する。比較としては、コロナ前の令和元年と令和5年の1月から11月で観光施設、観光名所9ヶ所で入り込み数を確認している。令和元年の入り込み累計が187万人で令和5年に関しては186万6000人で、ほぼコロナ前と同等になっている。ただし、鳥羽水族館であるとか、鳥羽マルシェといったところは令和元年と比較すると大幅に増加をしているので、この2つが大きく全体を引き上げているような状況であり、海の博物館や石神さんといった南鳥羽では、まだ戻っていない。鳥羽駅周辺は賑わったが、南鳥羽方面は戻っていないことから、二次交通に関してはバス路線が少し弱い。

・委員（利用者）

かもめバスの乗り方教室について、離島住民へのある方教室の開催予定ということであるが、中之郷棧橋とハローやコメリで、答志島の方がカート引いて歩いている姿をよく見かける。新造船で中之郷を廃止になった場合、バスに乗られる方は増えるのではないかと思いますので、離島で、バスの乗り方教室はぜひ開催をしていただきたい。

現状、年配の方の中村クリニック等への受診を見ても、鳥羽の親戚とか家族の漁休みのときとか、自家用車で送ってもらうのがほとんどで、バスを利用してクリニック通院する方はほとんどいないと感じる。バスの乗り方教室を開催したときに、うまく利用者が増えれば、家族や送迎の負担も減るのではないかなという期待感もある。乗り方教室を効果的に行っていただきたい。

鳥羽小学校の乗り方教室は、写真を見るとバスを持って行って実施したようだが、離島で乗り方教室をされる場合には、どのような方法を考えているか。バスを持っていくのはなかなか難しいがフェリーを使ったら難しくはないと思う。工夫していただきたい。

・事務局

過去の離島での説明会を参考にしている。陸の方で子供向けの説明では紙芝居を使ったりして、説明をしている。紙芝居だけではわかりづらいので、動画等で乗車方法を案内するなどし、不安を感じる運賃の支払方法、乗降時の動作などを説明できるような方法を考えている。

・委員（利用者）

額にカメラをつけて、実際に行動する映像を見たりしたらどうか。

・委員（学識経験者）

この後の計画策定にも関係してくることだが、佐田浜一元化でバスとの乗り継ぎが必要になってくるといふ事だが、今のバスとの乗り継ぎはどのくらいあるのか。

・事務局

1万1000人ほど使っていただいている。

・委員（学識経験者）

往復を比較すると、通常復路の方が少なくなると思われる。どこの航路が多いか等わかると良い。乗り継ぎ券についてどのくらい周知されているか。

・事務局

広報や会議、時刻表に入れる等でお知らせするとともに、マリンターミナルに表示をしている。今年11月で前年の100%を超えているので、ある程度知っていただいていると考えている。

・委員（学識経験者）

どれくらい知られているかの把握が肝要。

・委員（利用者）

既に利用している方は多いと思うが、今家族で送迎している方は関心が無いと思う。佐田浜一元化を見越し、しっかりPRすると増加すると思う。

・委員（利用者）

足の悪い方も多いしせっかちなので、親戚の方に頼む方が多い。発着をもう少し早くするなど、利便性をあげてもらいたい。

・委員（利用者）

お年寄りのほとんどが中之郷で降りる。買い物はそこから歩いているので、バスに乗ったことない方がほとんどで学生が1,2人乗っている。乗り継ぎ券はほとんどの方が分かっていないと思う。佐田浜一元化になってからはしっかりアピールして欲しい。

・委員（利用者）

中之郷へ行く人は車を駅周辺に借りている。定期船を降りて駐車場へ時間をかけずに行けるような時刻表だと利用者も有ると思う。買い物は生協を利用する人が増えており、本土へ買いに来る人は知り合いや親戚に乗せてもらっている。

・委員（学識経験者）

乗場が遠い、せっかちという話がでた。船が着く時刻に全部バスが付けば良いがそうもいかず、不揃いになる。鳥羽駅やほかの駅から乗る人は間が空くことにもなる。離島航路のダイヤがわからないので、ダイヤの組みようがないのが辛いところ。せっかちということもわかるし、トイレ近い人はどうするか、遅れて次の船になると困るなど考えることがたくさんあるので皆さんと相談になる。

最低限、降り場が遠くても良いが乗り場は近い必要がある。棧橋側に日よけが無いので作ることが必要かと思う。病院やコメリの話はあとからも出ると思うが、その前に止まれるように考えているが、少し通過した後数分で横づけしたら足の悪い方でも行きやすいといった改善も考えの中に入れる。

乗り方訓練は開業前が良いか後が良いかは分からないが、試運転などと合わせ、事前に10回くらい決めておいて予約無く乗れるように実施すべき。

実際運行開始してからは佐田浜で待ち構えて案内してくれる人がいて苦も無く乗れるように見守りができると評判になると思う。そこで乗り継ぎ券の話をする等、そのくらい構える必要がある。

教室では優しいので、訓練という言い方で。話をする中で路線図や時刻表をどのようにすると良いか改善して行けばよいと思っている。

・委員（利用者）

どの航路も良いので良いので病院や買い物へ行って帰って来られるモデルコースを示して、広報等で乗せると離島の方はありがたいし、利用者も増えると思う。

・事務局

乗り方訓練できる場を作っていく。4月以降となるかもしれないが8月1日あたりでダイヤ改正を予定しているので併せて5～8月で実施したい。

マイ時刻表の様なものを作れるように進めていく。

・委員（利用者）

定期船内のモニターで路線図を説明できると良い。

・事務局

離島の方には同じものが流れると意見をいただく人もいるので訓練だと周知をお願いしたい。

・委員（学識経験者）

鳥羽駅から離島や南鳥羽・小浜に展開できること、鳥羽バスセンターと鳥羽マリンターミナルが鳥羽駅に近いということを知ってもらうことが必要。名前で紐づけするか括弧書きするなど工夫が必要。

今回の一元化の後にはサインの計画や鳥羽市、観光協会のHP、マップでも同じ地域とわかるように強調していく必要がある。

循環便が出来た際には離島航路と乗り継ぎを考慮した形になるということなので、鳥羽マリンターミナルが鳥羽駅とともに拠点となるように案内方法を考慮する必要がある。

評価期間について、資料では令和4年1月から令和5年1月となっているが、補助上の期間が10月から9月ということに鑑み、令和4年6月から令和6年1月までの1年半を書くべきであるので見直されたい。またチェックやアクションなど連動して分かりやすいように書いてほしい。

・会長

いただいた意見を参考に、修正を進めていただきたい。バス停等に関して、現時点では予算要求段階であるが、事務局から現状説明をされたい。

・事務局

マリンターミナルのバス停が遠いとの意見もいただいた件に関して、現在、海側の近いところに設置できるよう予算要求している。また、ダイヤ改正とあわせ印刷物の作成やPR動画作成費用を予算要求しているので、適時に報告を行う。

○採決

・会長

原案に対し、先ほどいただいたご意見をもとに修正を加えることで、お認め頂くという事でよろしいか。

（異議なしの声有り）

（2）議案第2号 近鉄鳥羽駅・佐田浜周辺における案内サイン整備改修計画の策定について

○事務局説明

議案書により説明。

○委員からの質問等

・委員（観光）

鳥羽駅周辺の整備をこれからやっていくという話もあるが、どこまで計画に基づいてやるべきか。他の機関への呼びかけもどのように進めていくのか。

・事務局

皆さんとサイン整備をしていく共通認識として進めてきた。これからの整備により内容が変わる可能性もあるが、連携を密にしながらやっていきたい。

・事務局

定期船課ではマリナーミナルまでの経路を重要視している。予算の話もあるが、緊急性のあるものは既存予算を使いながらも進めていく事が必要。時限的になるかも知れないが、必要なものは急ぎ整備していただきたいと思っているので、そのような働きかけを市や県の各部署へ伝えていきたい。すでに三重県の港湾課の方とは話している部分もある。

・委員（学識経験者）

あえて言うが鳥羽駅 JR 側がやれていない。近鉄もどちらもそれぞれのサインポリシーが有ると思うが用語は統一すると良いと思う。考えも聞かずに言ったが、JR で降りた時や乗る時に連続性があると JR 側で降りてもマリナーミナルやバスターミナルに円滑にいけるということを担保する為にそういう話をできる。JR 側にはタクシー乗場もあるのでそこにも配慮が必要。

・事務局

今回は鳥羽駅から海側に特化をしているが今後まちづくりの中で佐田浜エリアから JR 鳥羽駅、岩崎のエリアへ考えていきたいので、その中でサイン整備を一緒に考えていきたい。

・委員（鉄道）

過去に当時の観光課長さんから相談があり、整備をした記憶がある。平成 30 年頃なので 5 年ほどたっているが、危ない箇所など協力させていただきますのでよろしくお願いします。

○採決

・会長

先ほどいただいたご意見を参考にさせていただいた上で、お認め頂くということによろしいか。

（異議なしの声有り）

（3）議案第 3 号 地域公共交通計画と乗合バス等補助制度との連動化のための地域公共交通計画の一部改訂について

○事務局説明

議案書により説明。

○委員からの質問等

・委員（三重運輸支局）

計画案は確認して細かいことになるかもしれませんが、事務局とやりとりしたい。

○採決

・会長

詳細な内容については別途意見照会の上で、次回 5 月の会議において決定していくという形で進めていくことにご異議ございませんか。

（異議なしの声有り）

3. その他

(1) かもめバス循環便について (情報共有)

○委員からの質問等

・委員 (学識経験者)

ひだまりに行かないのは不安があるが、全体は利便性が落ちることは無いと考えている。市民の森側とはハロー側が渡ることが出来ない停留所なので、通過して戻って来て、ハローの入りやすいところで降りるという案となっている。新しい停留所について今日は答えを出来ない段階だと思うが、適地が無い場合、安全を確保のため道路の一部改修を要する場合も想定されるので、その場合は協力されたい。

(2) 旅客運輸 2024 年への対応について

委員により説明 (三重運輸支局)

(3) 「中高生フォトコンテスト」について

委員により説明 (三重運輸支局)

4. 閉会